

「快復の年」緑の健都



明けましておめでとうございます。

令和5年、市民の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は市政の進展に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

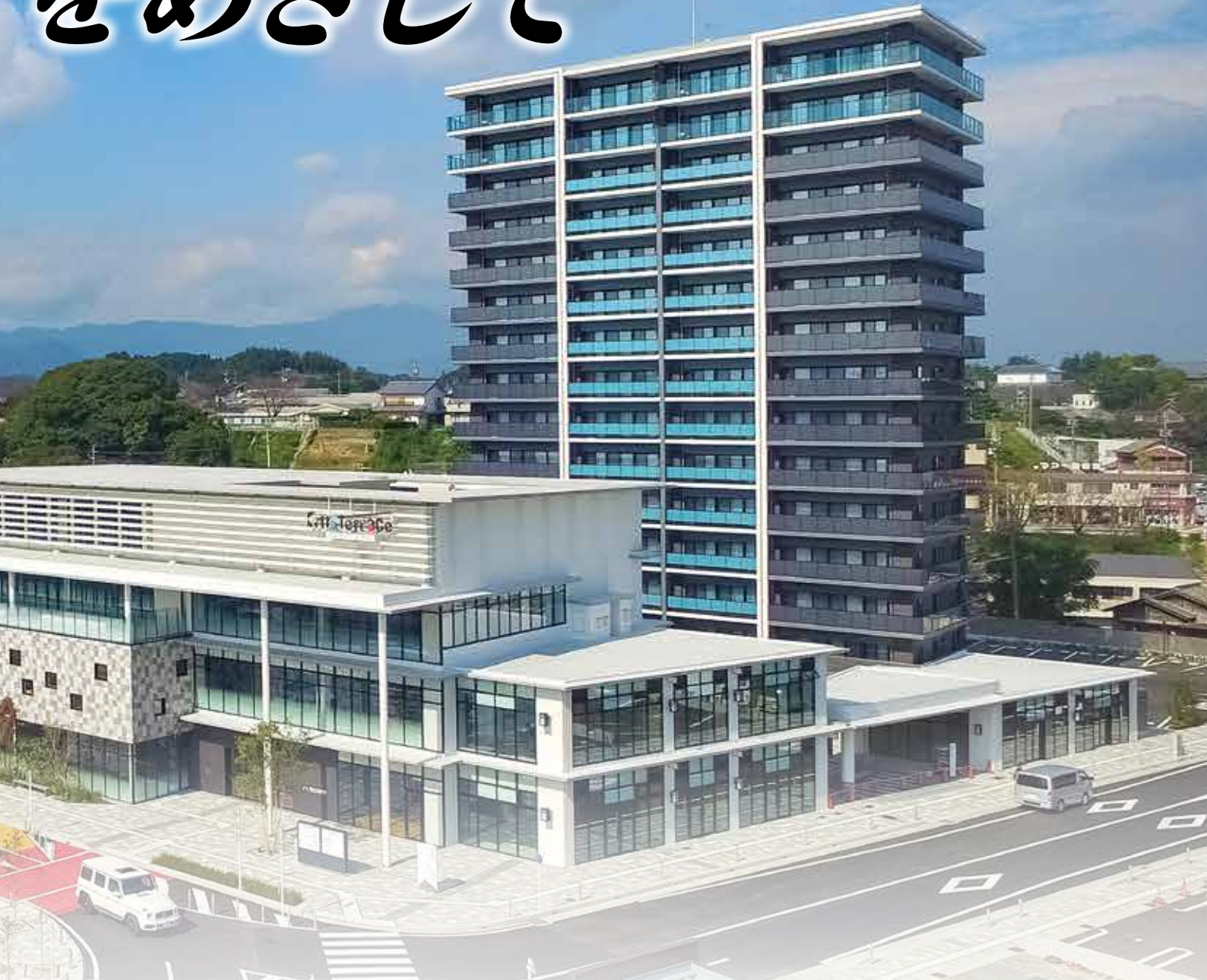


亀山市長 櫻井 義之

さて、昨年は、市の玄関口である亀山駅周辺地区における市街地再開発事業の完成、コストコホールセールジャパン株式会社等との企業立地協定の締結など、長年の取り組みが節目を迎えた年でありました。また、亀山市消防団(第4分団)の全国消防操法大会への初出場、市内唯一の県立高校である亀山高校の創立100周年、関宿納涼花火大会等の3年ぶりの開催などの喜ばしい出来事も続きました。

昨今、人口減少・少子高齢社会が進み長引くコロナ禍を経験する中、私たちはデジタルやグリーン分野における新しい技術や協働などにより、遅しく

をめざして



健やかな地域社会を構築することが求められています。また、激変する社会環境に適応し、新しい時代を生き抜く力の育成が一層求められています。現在、本市においては、将来都市像『緑の健都 かめやま』の実現に向け、リニア中央新幹線・三重県停車駅の誘致、WHO提唱の健康都市の構築、「ひとりぼっちをつくらない」共生社会の実現、新図書館を核としたJR亀山駅前の再生など、将来の都市成長に向けた胎動が始まっております。そして何よりも、コロナ禍で傷みが生じた社会・経済活動やコミュニティの「快復」を急がなければなりません。

このような中、亀山市は、これら時代の潮流と環境変化に適応するべく、「第2次亀山市総合計画・後期基本

計画」をスタートさせました。また、政策推進と財政健全性の両立の視点から、今春新しく「第3次亀山市行財政改革大綱・後期実施計画」を始動させます。新市施行から18年の歩みを経て、本市が今後も持続的に成長する都市であり続けるために、令和5年を「快復の年」と位置付け、全庁一丸となって挑戦してまいります。

清々しい新年を迎え、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、本市の将来都市像『緑の健都 かめやま』の具現化を着実に進めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が市民の皆様におかれまして、ご健勝で幸多き年であることを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。